

2025/10～2025/12 にっしん景況レポート

2025/12

Vol.
39



日新信用金庫では、当金庫営業エリア内で事業を営む経営者の皆様からご協力をいただき、2025年10～12月の景気の現状と2026年1～3月の見通しを調査する景気動向調査を実施しました。

対象業種は、製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業、不動産業の6業種です。

〈調査概要〉

1. 調査対象期間 : 2025年10～12月の実績(12月については予想)
2026年1～3月の見通し
2. 調査方法 : 営業店調査員による面接聴き取り
3. 調査対象先 : 当金庫営業エリア内の358社
4. 分析方法 : D.I.という指標を用いた分析。
D.I.とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、各質問項目について、「増加(良い、上昇)」とプラスの回答をした企業の割合(%)から、「減少(悪い、下降)」とマイナスの回答をした企業の割合(%)を差引いた指標で、構成比の差が判断D.I.となります。
各回答がプラス、マイナスどちらの方向に向かっているか、上向きの力が強いのか、下向きの力が強いのかを示す指標となります。
5. 期間について : 今期 = 2025年10～12月
前期 = 2025年7～9月
前年同期 = 2024年10～12月
来期 = 2026年1～3月

6. 業種別、地区別回答数

	地区合計	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
明石地区	150	48	23	16	24	19	20
三木地区	54	18	11	5	8	9	3
神戸地区	154	24	24	17	40	26	23
業種合計	358	90	58	38	72	54	46

● 今期の景況

今期(2025年10月~12月)は景気判断の目安となる全業種における業況判断D.I.が▲1.4となり、前期(2025年7月~9月)に比べ10.0ポイント改善した。売上額判断D.I.は18.1となり、前期と比べて15.6ポイント改善した。収益判断D.I.は9.5となり、前期と比べて16.5ポイント改善した。

● 来期の見通し

来期(2026年1月~3月)の予想業況判断D.I.は▲12.3となり、業況は低下すると回答した企業の割合が多かった。

〈回答数〉

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
回答数	12	82	165	78	21	358
回答割合	3.4%	22.9%	46.1%	21.8%	5.8%	100%

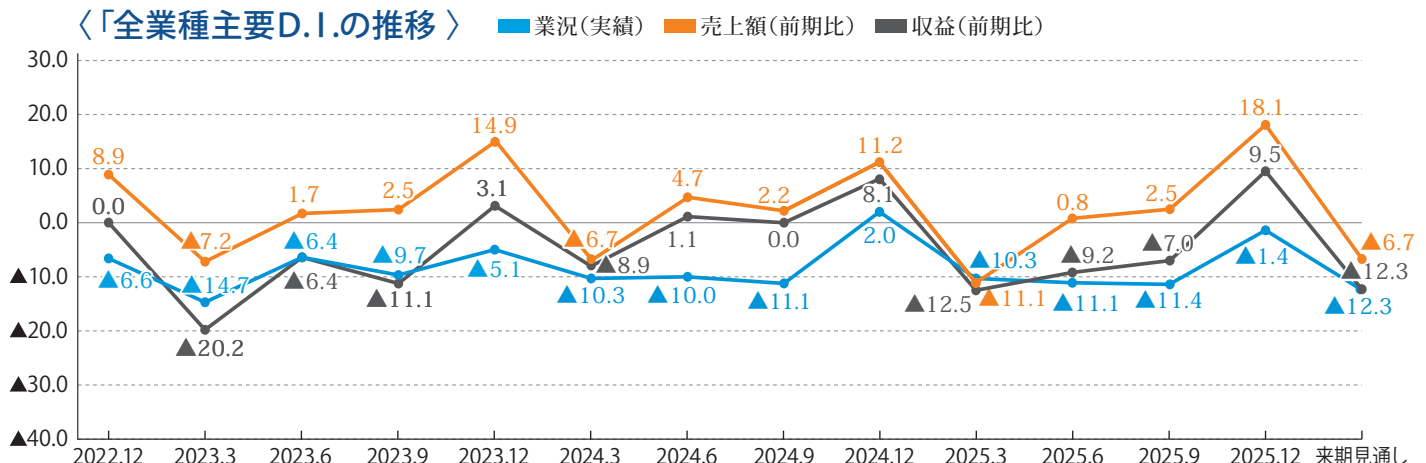
〈2025年10~12月地区別業況判断D.I.〉

	全業種	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
明石地区	2.7	4.3	▲ 21.7	0.0	▲ 4.2	26.3	15.0
三木地区	▲ 12.7	▲ 33.3	▲ 9.1	0.0	▲ 12.5	11.1	▲ 33.3
神戸地区	▲ 1.3	▲ 16.7	16.7	▲ 41.2	▲ 7.5	23.1	8.7
全地区	▲ 1.4	▲ 9.0	▲ 3.4	▲ 18.4	▲ 6.9	22.2	8.7

〈全業種総合主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲ 11.4	▲ 1.4	▲ 12.3	販売価格(前期比)	20.1	22.8	16.2
売上額(前期比)	2.5	18.1	▲ 6.7	仕入価格(前期比)	44.8	46.2	31.5
売上額(前年同期比)	3.9	5.3	—	資金繰り(楽-苦)	▲ 9.5	▲ 7.5	▲ 8.1
収益(前期比)	▲ 7.0	9.5	12.3	人手不足(過剰-不足)	▲ 34.0	▲ 32.9	▲ 30.9
収益(前年同期比)	▲ 5.8	▲ 3.3	—				

〈「全業種主要D.I.の推移」〉



● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲9.0となり、前期実績と比して11.2ポイント改善した。

売上額判断D.I.は17.8、収益判断D.I.は4.4となり、前期実績と比して売上額判断D.I.は9.9ポイント、収益判断D.I.は11.1ポイント改善した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は5.6、収益判断D.I.の前年同期比は▲4.4となり、昨年と同じ時期に比べ売上額は増加したが収益は低下したと回答した企業の割合が多い結果となった。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲18.0となり、業況は低下すると回答した企業の割合が多かった。また、予想売上額判断D.I.は▲8.9、予想収益判断D.I.は▲17.8となり、売上額および収益は低下する見通しである企業の割合が多かった。

〈 製造業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲ 20.2	▲ 9.0	▲ 18.0	販売価格(前期比)	15.7	22.2	20.0
売上額(前期比)	7.9	17.8	▲ 8.9	仕入価格(前期比)	36.0	46.7	35.6
売上額(前年同期比)	5.6	5.6	—	資金繰り(楽-苦)	▲ 11.2	▲ 11.1	▲ 12.2
収益(前期比)	▲ 6.7	4.4	▲ 17.8	人手不足(過剰-不足)	▲ 29.2	▲ 24.4	▲ 23.3
収益(前年同期比)	▲ 7.9	▲ 4.4	—				

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲3.4となり、前期実績と比して1.6ポイント低下した。

売上額判断D.I.は10.3、収益判断D.I.は5.2となり、前期実績と比して売上額判断D.I.は10.3ポイント、収益判断D.I.は10.5ポイント改善した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は1.7、収益判断D.I.の前年同期比は▲3.4となり、昨年と同じ時期に比べ売上額は増加したが収益は低下したと回答した企業の割合が多い結果となった。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲22.4と、業況は低下すると回答した企業の割合が多かった。また、予想売上額判断D.I.は▲8.6、予想収益判断D.I.は▲12.1となり、売上額および収益は低下する見通しである企業の割合が多かった。

〈 卸売業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲ 1.8	▲ 3.4	▲ 22.4	販売価格(前期比)	26.3	25.9	12.1
売上額(前期比)	0.0	10.3	▲ 8.6	仕入価格(前期比)	43.9	55.2	39.7
売上額(前年同期比)	10.5	1.7	—	資金繰り(楽-苦)	▲ 12.3	▲ 6.9	▲ 3.4
収益(前期比)	▲ 5.3	5.2	▲ 12.1	人手不足(過剰-不足)	▲ 26.3	▲ 29.3	▲ 24.1
収益(前年同期比)	8.8	▲ 3.4	—				

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲18.4となり、前期実績と比して6.6ポイント改善した。

売上額判断D.I.は10.5、収益判断D.I.は5.3となり、前期実績と比して売上額判断D.I.は3.0ポイント、収益判断D.I.は0.3ポイント改善した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は▲13.2、収益判断D.I.の前年同期比は▲18.4となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は低下したと回答した企業の割合が多くなった。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲23.7となり、業況は低下すると回答した企業の割合が多かった。また、予想売上額判断D.I.は▲21.1、予想収益判断D.I.は▲26.3となり、売上額および収益は低下する見通しである企業の割合が多かった。

〈小売業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲25.0	▲18.4	▲23.7	販売価格(前期比)	57.5	26.3	13.2
売上額(前期比)	7.5	10.5	▲21.1	仕入価格(前期比)	67.5	36.8	18.4
売上額(前年同期比)	▲2.5	▲13.2	—	資金繰り(楽-苦)	▲12.8	▲10.5	▲13.2
収益(前期比)	5.0	5.3	▲26.3	人手不足(過剰-不足)	▲27.5	▲21.1	▲18.4
収益(前年同期比)	▲15.0	▲18.4	—				

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲6.9となり、前期実績と比して5.6ポイント改善した。

売上額判断D.I.は26.4、収益判断D.I.は12.5となり、前期実績と比して売上額判断D.I.は26.4ポイント、収益判断D.I.は29.2ポイント改善した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は12.5、収益判断D.I.の前年同期比は0.0となり、昨年と同じ時期に比べ売上額は増加したものの収益は変わらないと回答した企業の割合が多くなった。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲18.1となり、業況は低下すると回答した企業の割合が多かった。また、予想売上額判断D.I.は▲15.3、予想収益判断D.I.は▲18.1となり、売上額および収益は低下する見通しである企業の割合が多かった。

〈サービス業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲12.5	▲6.9	▲18.1	販売価格(前期比)	16.7	23.6	16.7
売上額(前期比)	0.0	26.4	▲15.3	仕入価格(前期比)	43.1	44.4	20.8
売上額(前年同期比)	5.6	12.5	—	資金繰り(楽-苦)	▲13.9	▲8.3	▲9.7
収益(前期比)	▲16.7	12.5	▲18.1	人手不足(過剰-不足)	▲45.8	▲47.2	▲47.2
収益(前年同期比)	▲5.6	0.0	—				

○ 今期の景況

今期の業況判断D.I.は22.2となり、前期実績と比して31.5ポイント改善した。

売上額判断D.I.が24.1、収益判断D.I.が25.9となり、前期実績と比して売上額判断D.I.は20.4ポイント、収益判断D.I.は25.9ポイント改善した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は3.7、収益判断D.I.の前年同期比は0.0となり、昨年と同じ時期に比べ売上額は増加したものの収益は変わらないと回答した企業の割合が多かった。

○ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は3.7となり、業況は上向くと回答した企業の割合が多かった。また、予想売上額判断D.I.は3.7、予想収益判断D.I.は0.0となり、売上額は増加するものの収益は変わらない見通しである企業の割合が多かった。

〈 建設業主要D.I. 〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲ 9.3	22.2	3.7	販売価格(前期比)	5.6	16.7	11.1
売上額(前期比)	3.7	24.1	3.7	仕入価格(前期比)	44.4	53.7	40.7
売上額(前年同期比)	▲ 5.6	3.7	—	資金繰り(楽-苦)	▲ 1.9	▲ 1.9	▲ 9.3
収益(前期比)	0.0	25.9	0.0	人手不足(過剰-不足)	▲ 46.3	▲ 61.1	▲ 51.9
収益(前年同期比)	▲ 14.8	0.0	—				

○ 今期の景況

今期の業況判断D.I.は8.7となり、前期実績と比して4.4ポイント改善した。

売上額判断D.I.は13.0、収益判断D.I.は4.3となり、前期実績と比して売上額判断D.I.は19.4ポイント、収益判断D.I.は17.1ポイント改善した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は13.0、収益判断D.I.の前年同期比は0.0となり、昨年と同じ時期に比べ売上額は増加したものの収益は変わらないと回答した企業の割合が多かった。

○ 来期の見通し

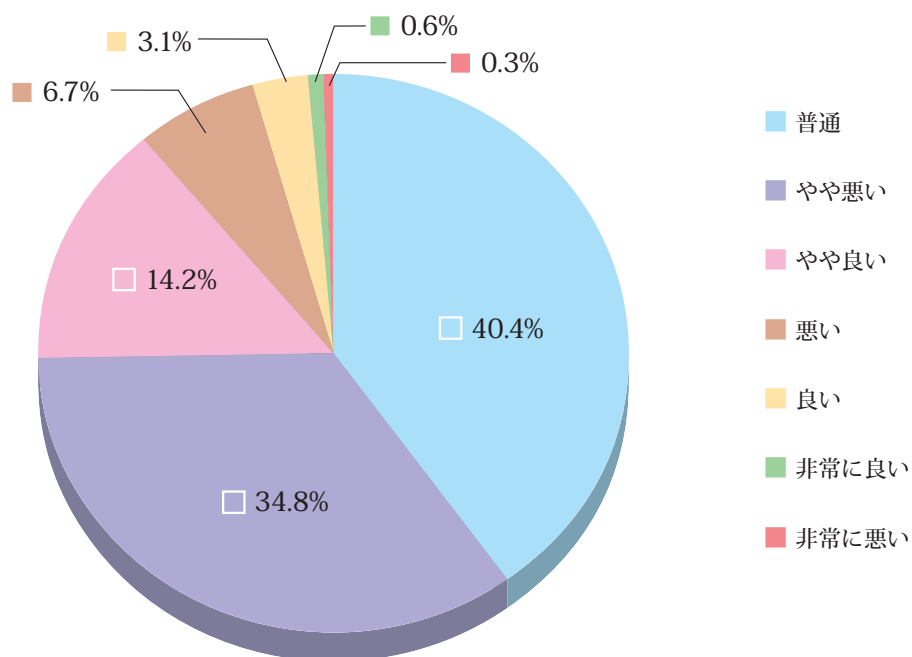
来期の予想業況判断D.I.は8.7となり、業況は上向くと回答した企業の割合が多かった。また、予想売上額判断D.I.は10.9、予想収益判断D.I.は4.3となり、売上額及び収益は増加する見通しである企業の割合が多かった。

〈 不動産業主要D.I. 〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	4.3	8.7	8.7	販売価格(前期比)	10.6	23.9	21.7
売上額(前期比)	▲ 6.4	13.0	10.9	仕入価格(前期比)	46.8	37.0	30.4
売上額(前年同期比)	6.4	13.0	—	資金繰り(楽-苦)	▲ 2.1	▲ 4.3	2.2
収益(前期比)	▲ 12.8	4.3	4.3	人手不足(過剰-不足)	▲ 25.5	▲ 8.7	▲ 15.2
収益(前年同期比)	▲ 2.1	0.0	—				

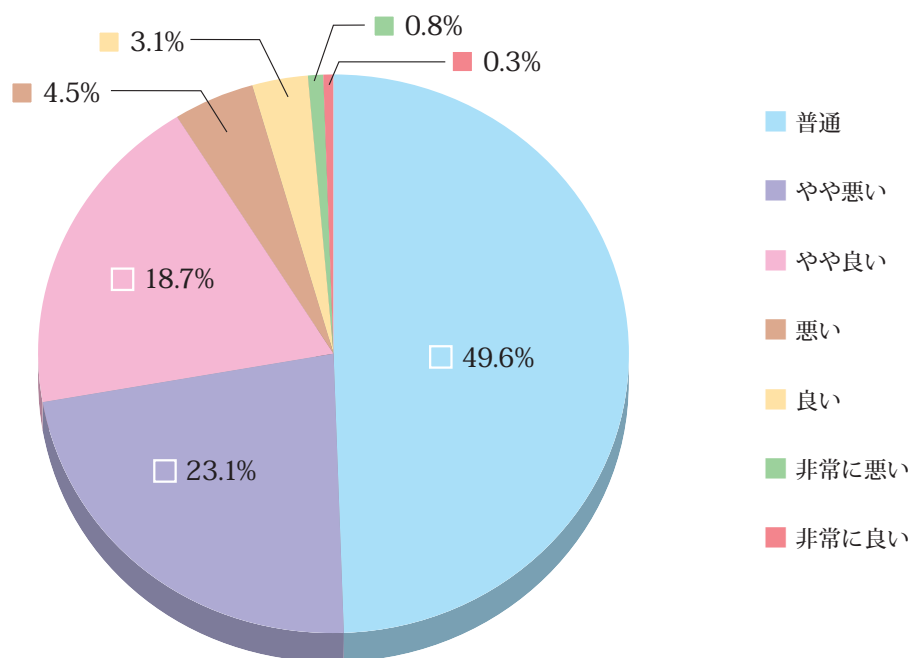
特別調査:「2026年(令和8年)の経営見通し」

○ ～2026年の日本の景気をどのように見通していますか～



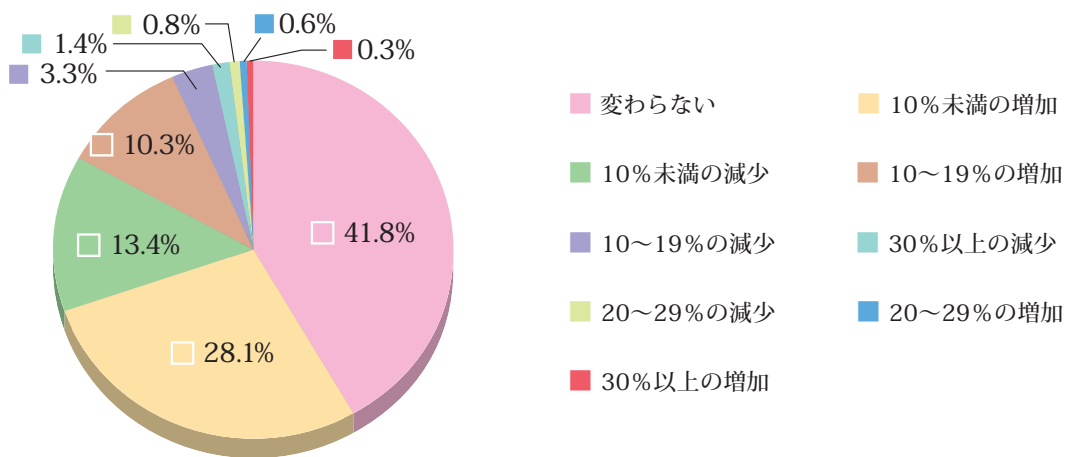
2026年の日本の景気については、「普通(40.4%)」の回答数が最も多く、次いで「やや悪い(34.8%)」となった。

○ ～2026年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか～



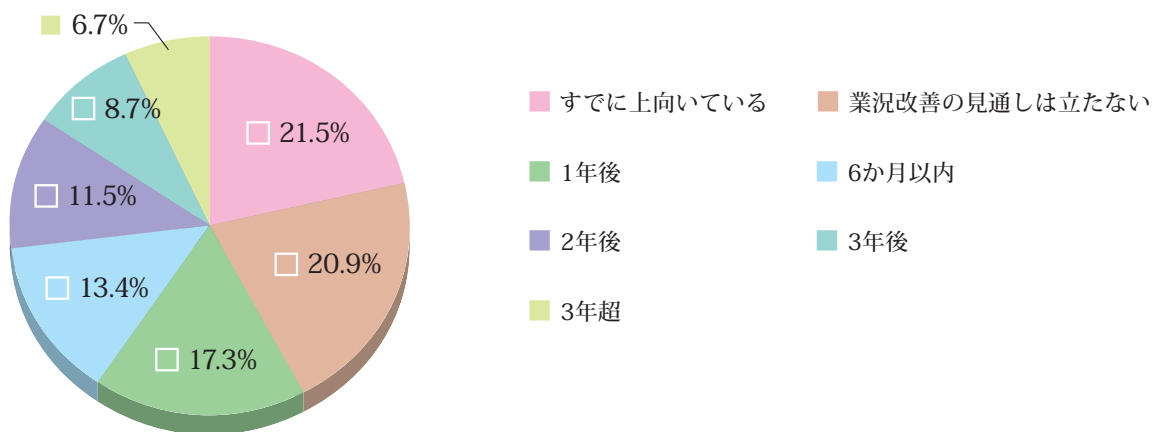
2026年の自社の業況(景気)については、「普通(49.6%)」の回答数が最も多く、次いで「やや悪い(23.1%)」となった。

● ～2026年において売上額の伸び率は、2025年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか～



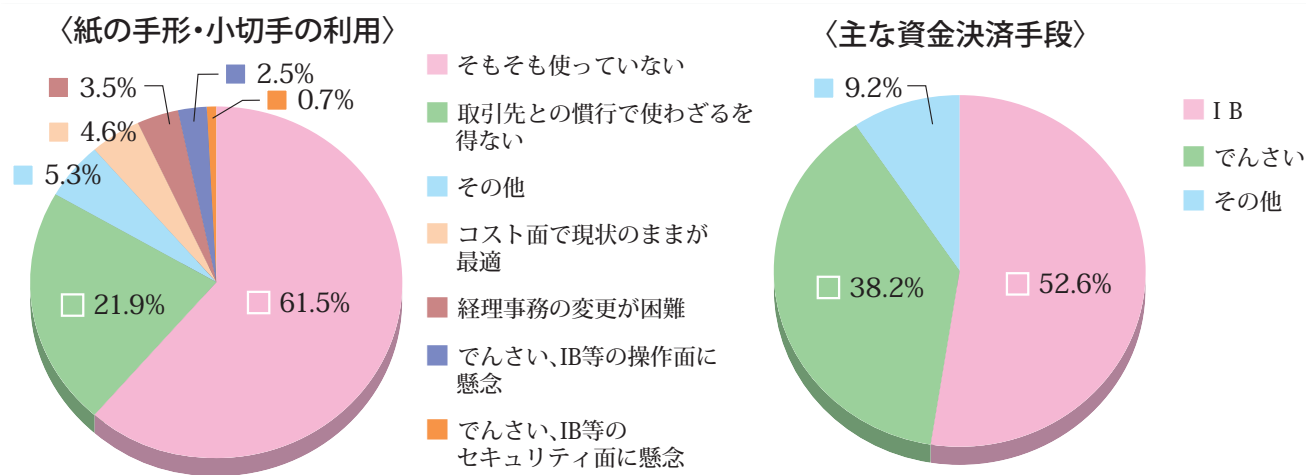
2026年の売上額の伸び率については、「変わらない(41.8%)」の回答数が最も多く、次いで「10%未満の増加(28.1%)」となった。

● ～業況が上向き転換点をいつ頃になると見通していますか～



業況が上向き転換点については、「すでに上向いている(21.5%)」の回答数が最も多く、次いで「業況改善の見通しは立たない(20.9%)」となった。

● ～①現時点で、企業間の資金決済の手段として紙の手形・小切手を使っていますか～
～②もともと紙の手形・小切手を使っていたがやめた場合、現在の主な決済手段は何ですか～



①紙の手形・小切手を使っているかどうかについては、「そもそも使っていない(61.5%)」の回答数が最も多く、次いで「取引先との慣行で使わざるを得ない(21.9%)」となった。

②やめた場合の現在の主な決済手段については「IB(52.6%)」の回答数が最も多く、次いで「でんさい(38.2%)」となった。

イベント関連

現在、予定しているイベントは下記のとおりですが、募集状況により受付を終了している場合がございます。

●「経営相談会」を実施します!

創業をお考えの方や、創業して間もない方の様々なお悩みに、兵庫県よろず支援拠点の専門スタッフが応じます。

- 開催日時・会場：令和8年1月23日(金) 13:00~16:30 日新信用金庫 神戸支店
- 参加費：無料
- 定員：3社(ご相談時間1社60分)

●「事業承継個別相談会」を実施します!

事業承継をお考えの方の様々なお悩みに、兵庫県よろず支援拠点と兵庫県事業承継・引継ぎ支援センターの専門スタッフが応じます。詳しくはお取引店までお問合せください。

- 開催日時・会場：①令和8年1月15日(木) 13:00~17:15 日新信用金庫 加古川支店
②令和8年2月12日(木) 13:00~17:15 日新信用金庫 藤原台支店
③令和8年3月12日(木) 13:00~17:15 日新信用金庫 三木支店
- 参加費：無料
- 定員：各日程3社(ご相談時間1社75分)

このたびは、第39回中小企業景気動向調査にご協力いただきまして誠にありがとうございました。


調査結果についてのご照会、またご不明点等ございましたら、下記フリーダイヤルまでお問合せください。



 **日新信用金庫**

〒673-0892 兵庫県明石市本町2丁目3番20号

フリーダイヤル イコー ニッシンバンク

 **0120-15-2489**

(受付時間) 平日午前9時から午後5時まで

- 当金庫の情報発信ツールとしてLINE及びInstagramの公式アカウントを発信しております。当金庫からキャンペーン商品のご案内、地域貢献、地域イベントの紹介等が発信しますので、下記QRコードからお友だち追加及びフォローをお願いします。



QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。